



秦野養護学校 手話校歌について

カリキュラムグループ 磯崎 景子

校内のさまざまな行事で歌う校歌に、子どもたちにも表現がしやすいように手話つきの動画が制作しました。制作にあたっては、「北村仁 手話とダンスで世界をつなぐ オンラインUDスクール」の方々に多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました。『秦野』って手話でどうやるの?』という本校職員が団体の方々に聞いたことから、『秦野養護学校ってどんな学校?』というやりとりをしながら、校歌に手話をつけるだけでなく、動画の制作にも携わっていただきました。また、そこから複雑な動きが難しい子どもでもできるように簡単バージョンも制作しました。

歌が大好きな子どもたちが、校歌に手話をつけていただいたことで、もっと楽しんで体全体で校歌を歌うことができるようになったのではないかと思います。また、新型コロナウイルスの感染防止対策として今年度はみんなで声を出して歌うことができない中、この手話校歌があることで声に出さなくてもみんなで校歌を歌うことができます。

3学期の始業式では、各教室でこの手話校歌の動画を見ながら子どもたちが一緒に手ぶりをする様子が見られました。今後、この手話校歌の動画をさまざまな場面で活用していきたいと考えています。

手話校歌バージョン



かんたんバージョン



以下の URL や QR コードにて秦野養護学校手話校歌の動画をご覧ください

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLzGabaE1R2G85hD4QcXRq9eBJccdjZcDr>

G



今年度、G部門では、共生社会実現フォーラムの取り組みの中で、鎌倉女子大学の大学生との



リモートでの交流授業(計3回)を行いました。「参加者同士が活動を通してお互いを知り、みんな笑顔になること」を自指し、「nikkori project」と名付けました。

画面越しではありましたが、クイズやかくれんぼ、風船バレーをしたり、「パプリカ」の曲に合わせてダンスをしたり、大学生のお姉さんたちと楽しい時間を過ごすことができ、みんな“にっこり”でした。

B



B課程では、新型コロナウイルス感染防止対策として、引き続き病棟で授業を行っています。

個別や小集団の学習、タブレット端末の画面で友達の様子や教員の話を確認できるリモート授業など、方法は様々です。

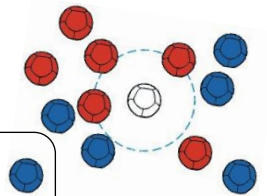
ひとつ紹介しますと…

運動の授業では、2学期から7病棟と8病棟をリモートでつなぎ、独自のルールでポッチャの対戦をしています。



ホールインワンをねらおう！

3学期初めの授業は、ホールインワンのルールが新たに取り入れられ、各病棟で練習しました。



病室から出られないときも
リモート授業で一緒に参加



D



D弘済では、小学部高学年と中学部の子どもたちが在籍する基礎クラスで、弘法山登山に行きました。空気がひんやりと冷たい冬晴れの白、出発時は上着を着こんでいましたが、休むことなく黙々と歩き続ける子どもたちの額には、次第に汗が光りはじめました。

たくさんの落ち葉で滑りやすくなった道や、ごつごつした岩だらけの斜面を、自ら助けを求めたり、自分の方で進もうとしたり、一歩一歩考えながら、どの子も一生懸命歩きました。

途中、皆で足をとめ、リュックに上着を詰めて再出発！木々の間から差し込む太陽の白差しをうけながら、山頂を目指してラストスパートをかけました。

学校から山頂まで40分程の道のりでしたが、校外での学習はこれが今年度初めてということもあり、無事帰校した子どもたちの表情からは、疲れとともに充足感が感じられました。

